



ゆり北

第65号 (7期第4号)

発行・光が丘パーク タウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

恒例のミニミニキャンプ終る！

恒例のミニミニキャンプが、夏休みに突入した七月二十二日(土)、二十三日(日)、十四号棟隣の中学校予定地で実施されました。今回の参加者は四十二名でした。しかし例年よりも小学校高学年の人数が少なく盛り上がりには多少欠けていたが、毎年参加している子供が多く要領を心得ていたため、成功のうちに終了することができました。

また昨年度はテント数が少ないため、参加できない子供がいましたが、今年はテントも二張増えたことにより、応募者全員に参加してもらえました。ミニミニキャンプでは、例年のようにグループの自主性を重視し、グループごとの食事作り、全員でのキャンプファイヤー、花火大会を行い、少しでも自然界のキャンプの雰囲気を作るように努力したつもりです。



まだ、毎年感じることですが、子供達にリーダーシップとは何か？を身をもって体験させているつもりですが、真のリーダーシップを身につけさせるのは大変難かしいことです。しかし、常に子供達にトライ・アンド・テイクの

赤塚・田柄団地建設で歩行者の安全対策を要望

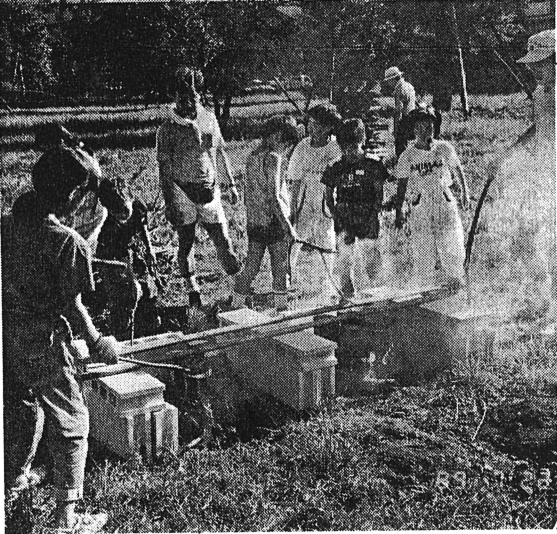
七月始めより、中学予定地の東側の赤塚・田柄団地の建設が始まりました。自治会では、七月二日の役員会に、公団および施行建設会社を呼び工事の計画・安全対策について説明会を持ちました。公団側は、①工期は来年三月まで、中学予定地に現場事務所が置かれます。②工事時間は、午前八時より午後七時まで、日曜・祭日は大きな音のする工事は行わない。③搬出入の工事関係車両について交通整理員を一名配置する。と説明が有りました。

これに対して自治会では、交通量の多い、狭い道であり交通整理員は二名以上配置してもらいたい。②朝は通勤・通学時間帯であること、時間前にくる工事関係車両が多いので整理員の配置は午前八時前より行うこと。③工事予定を十四号棟に掲示することなどを要望しました。

なお、公団・監督員事務所の電話は(五九九七)二〇四五です。

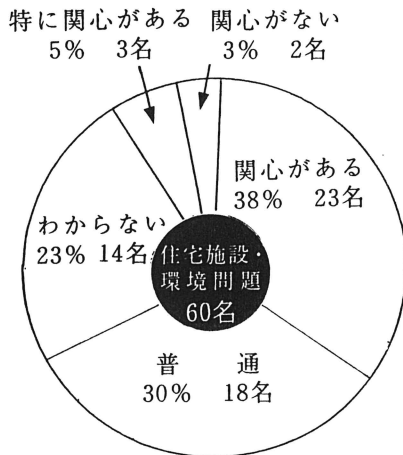
この団地建設について、先に要望した事のうち建設規模は一〇戸減の一四四戸とする。区域境界線からは建物を外す。中学側の建物は東側に一m寄せるなどの回答が三月にありました。

団地周辺の交通問題で高島平署に要望



気持ちを持つよう指導しています。最後に、キャンプにあたって、仕事でお疲れのところ、協力して下さい。皆様、特に、キャンプ場内の夜警をして下さったお父さん方、大変御協力ありがとうございます。来年もよろしくお願いします。また、十四号棟の皆様、一日中おさわがせして申し訳ありませんでした。

- 団地周辺の不法駐車について、管理組合と連名で、高島平警察・交通課に、次の項目の要望を提出しました。
- 1 ゆりの木通りについて
 - a 放置車両のレッカー移動を含め歩行者の安全、緊急車両の通行の確保
 - b 駐車禁止の標識の設置
 - c 歩道部分の露天の出店の取締
 - 2 赤塚新町公園通りについて
 - a 商店街入り口、横断歩道付近の駐車
 - b 交通標識を見易く
 - 3 三〇一、三〇二道路について
 - a ダンプ、トレーラー、保冷車など大型車両の駐車取締
 - b 光が丘地区と三〇一、三〇二道路の早朝・夜間の大型車両の規制



Qさん 入居年数が経つにつれ、住民の住宅環境に対する意識が低下し、近所迷惑なことが多く発生します。例えば、犬猫の飼育、駐輪場の氾濫、暴走族の出現、ゴミ処理に対するモラルの欠如、植栽の踏み荒らし、深夜の洗濯、深夜の子供の異常音、エレベーターの汚損等々挙げればきりがありませんが、こういうモラル向上には、まず自分の出来る事から積極的ななんとかしようという意識が必要であると痛感します。

Rさん 修理依頼をしたいのですが、どこに連絡したらよいのか良くわかりませんし、たとえ連絡してもタライ廻しとなり要領が得ません。どうにかありませんか？ 例えば、テレビの集中アンテナの故障、室のカビ、通路の水はけや公園のブランコ下の水はけの悪さ、階段室の天井破損等々です。

Sさん ゆりの木通りの駐車違反を取締って欲しい。何カ月も前から放置してある車もあり撤去することのできないのでしょうか？

Tさん 鳩を何とかしてもらいたい。昨年より、鳩が隣のベランダに巣を作っています。鳩のフンの後始末や早朝からの鳩の鳴き声に悩まされて

新聞討論

住宅・環境問題 (その三)

れています。何か良い解決方法はないのでしょうか？

Uさん 子供にとって大変危険です。十号棟では、道路に面した小さい方の洋室の窓にアルミ横板が一枚付いているだけで安全さくがありません。

従って、子供が遊びに夢中になり窓のそばで台の上に乗る体を窓の外にのりだしたら、落下する危険があります。幸い現在まで事故がないのですが、事故が発生する前に何か対策を打つ必要があると考えます。良い方法はありませんか？

Vさん よく鳴る非常ベルは問題です。入居以来、非常ベルを何度となく耳にしながら何事もなく来ました。最近では、音がしてもあまり気にならなくなりました。

しかし、現実に事故が発生した場合のことを考えると恐ろしくなります。そこで非常ベルが、もし鳴った時には、その原因を何らかの方法で連絡するようにして欲しい。オオカミ少年にならないために、いざの時に役立つようにしてもらいたいと思っています。

Xさん 熱湯が出るまでの時間が長すぎます。特にお風呂場では真夏でも温湯栓をひねってから、暖かくなるまで九十秒、熱くなるまでには一分十五秒程もかかります。省資源が叫ばれる時代に無駄が多いと思いますので改善を望みます。また、お風呂の追焚きがでない点も安全ではあるかもしれませんが、これまた無駄が多いと思います。

参加しませんか!! 板橋区防災訓練

今年は伊豆半島の群発地震、伊東沖の海底火山の噴火等がありました。いざと言うときのために、訓練への参加をお願いします。

九月一日(金)は、関東大震災記念日です。区の防災訓練が行われます。下赤塚地区では午前九時すぎから、各集会所での初期消火訓練に始まり、訓練会場の下赤塚小学校への避難誘導訓練、そして訓練会場では応急救護訓練・消火訓練などが行われます。また区民消防隊などによる放水訓練も見学できます。

自治委員・防災リーダーの方に参加をお願いしますが、希望者の方の参加もお待ちしております。(三〇名まで)

集合は、午前十時・ゆりの木保育園前です。参加者には区から記念品として、防災用品が支給されます。

なお、区から全世帯に「防災パンフレット」(B5版48ページ)が配布されます。ご活用下さい。

また、ゆりの木北自治会・ゆりの木通り北住宅管理組合共同による防災訓練は十月に行う予定で準備を進めています。団地の特性にそった訓練にしたいと考えています。

投稿

ボール遊び

8号棟 林 専一朗

夏ももうすぐ終了です。普段運動不足のあなたに、もうすぐくるスポーツの秋(いろいろな秋があると思いますが)に備え、ボール一つで楽しめ

める手軽な遊びを紹介します。世界百四十五カ国の国技サッカーをあなたも楽しんでみませんか。▽ボールと友達になろう

手を使ってできることが足を使つてやれないことはない? マリツキを足でやってみよう。バレーボールを足でやると平安時代の蹴まりになります。

まず、地面にいたボールを足を使つて空中にあげてみましょう。ボールが空中にあがるようになったら、今度は、あげたボールを地面におちる前に手でキャッチしてみよう。さあできましたか。

次は、手でボールを持ち、足の甲・内側・外側・モモ・オデコなどに、一回あてて地面におちる前に手でキャッチしてみましょう。

できた人は二回・三回とあてて何回続けてできるかチャレンジしてみよう。さあボールが自分の思うとおりになり友達になれましたか。▽公園でキックそしてドリブル

新しい生命の誕生はありませんでした。果立ってからの弱肉強食、人間の狩猟本能、開発による環境破壊などカルガモの生きる世界は厳しさに満ちています。ヒナの時代、つかの間のアイドル扱いをのぞいては――。

シリーズ バードウォッチング 公園にいるよ⑥ カルガモ

ねりま自然のなかま 田中 勝子

光が丘公園の、夏の野鳥の森は、野鳥の姿が少なく静でさびしい。でもいつ行っても会えるのがカルガモです。では光が丘公園のカルガモ物語をはじめましょう。

一九八六年に初めてカルガモのヒナが五羽かえりました。池ができてから四年目のことです。しかし五日後には一羽もみえなくなりました。八七年に四羽。八八年に六羽、この年にはアオダイショウがカルガモの卵を狙っているところを、とり押さえ難をのがれた事件がありました。八九年一回目十羽、二回目五羽、三回目四羽が誕



投稿

『お父さんの屋さがり』 スポーツについて

八号棟 坊野 秀美

ある老人からお叱りを受けたことがあります。その老人はジョギングが趣味で、毎日せっせと走っています。ある夜、私が例のごとく酔ってフラフラ歩いている時、ジョギング中の老人にばったり出会いました。

「あんたね、まだ若いんだから、そんなに飲んでばかりいたらダメだよ。私みたいに走りなさい。毎日走ってりゃ体にいいよ。長生きすること請け合いだ」

「ハア、でも、ぼくは運動は...」
「何言ってるの。あなたは長生きしたくないのかね」
「そりゃあ、長生きするのにこしたことはありませんが...。おじいさんは長生きしたいんですね」
「だからこうして走ってるんだ」
「長生きしてどうするんですか」
「う、だから、長生きしてだね、いつまでも走るんだよ」
「じゃあ、走るために長生きするんですね。で、長生きするために走っている、と。アハハ、堂々巡りですね」
「バカ、この酔っ払い!」
それから間もなくこの老人は心不全で亡くなりました。

編集後記



夏休みも終わりに近づき、夏休み中の楽しかった思い出にひたっていることと思います。さて、皆様方に御協力してもらった新聞討論「駐車場のスペース問題」「会員・非会員の問題」についての自治会方針を八月号までに掲載する予定でしたが、当役員会の討議が十分であるため、十月号まで順延させていただきます。申し訳ありません。